

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（1 / 6時間）

(1)目 標 ・文章構成の形式を理解し、違いを見分けることができる

(2)評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
文章構成の形式を見分ける力を見るために「Gアップシート」の問題に取り組む	Bの内容に加え、接続語を用い、文のつながりを考えながら、文章を他の形式に書き換えている	文章構成の三つの形式の名称と違いを理解し、三種類の文章を読んで、その文章の構成を見分けている	ワークシートや板書の見直しをさせる

(3)展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝）
導入 10	1 単元の見直しをもつ ・本単元で身に付ける「中核となる力」を「ふり返りカード」で知り、単元の見直しをもつ 2 本時の学習の目標をもつ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">文章構成の形式を見分けよう</div>	「ふり返りカード」が、単元全体の目標と計画を示していること、また、それを意識して学習に臨み、学習後に力が身に付いたかどうかを「ふり返りカード」を用いて振り返ることが、学習方法として有効であることを伝える 授業の目標（その時間に身に付けたい「中核となる力」）を明確にし、生徒にも意識させる
展開 37	3 文章構成の形式を知る (1) 文章構成の三つの形式（頭括式、尾括式、双括式）の名称と特徴を知る (2) 形式ごとに、「最も伝えたいこと」が書いてある場所を確認する (3) 「なか」に書く内容を知る (4) 構成がわかることの良さを考える 4 実現状況を確認する ・「Gアップシート」で文章構成の形式が理解できたか確認する 「Gアップシート」の内容 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・各形式の違いを理解し、名称を答える ・三つの形式の文章を読み、書かれている形式を答える ・ある形式で書かれた文章を、異なる形式に書き直す </div>	文章構成の形式を、典型的なわかりやすい文章を例にして示し（「Gアップシート」と同じ文章を紙板書にして使う）、確実に理解させる ・「最も伝えたいこと」を述べる位置を覚えるために、ワークシートの図に色を塗る作業を取り入れる ・視覚的に構成・展開を意識できるように、全時間を通して、色のカードを提示しながら進める ・文章構成の形式がわかると、「最も伝えたいこと」が述べられている場所を見つけやすくなり、文章の要旨もとらえやすくなるという良さに気づかせる 「Gアップシート」を使う ・説明で使用した紙板書ははずす 「Gアップシート」に明示してある「中核となる力」（授業の目標）について再度確認したり、使い方を説明したりし、「Gアップシート」が自分の力を確認するために有効であることを伝え、意識的に取り組ませる 「Gアップシート」で授業の実現状況を把握し、その後の学習に生かさせる 授業者は実現状況を確認し、次時の授業、家庭学習の指導、個別学習に生かす
終末 3	5 本時の学習を振り返る	「ふり返りカード」を使って、本時で身に付けたい「中核となる力」が身に付いたかどうか振り返らせる

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（2 / 6時間）

(1)目 標 ・文章構成の形式を確実に理解することができる

(2)評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
「Gアップシート」を活用し、文章構成の形式を意識して、文章を書く	Bの内容に加え、身の回りから構成を意識して表現されている文章を見つけている	双括弧の文章を参考にして、文章構成の形式を意識し、形式に合わせて文章を書いている	前時に使用した文章構成を説明したワークシートや「Gアップシート」、「Gアップシート」の文例の見直しをさせる
ペアを組んで、互いが書いた文章を三つの形式の一つを選んで発表し合い、どの形式かを考える	Bの内容に加え、他の二種類の形式に言い換えることができ、それぞれの良さに気付いている	自分の書いた文章を他の形式に変えたり、相手の文章を聞いて、形式を判断したりしている	読めない時は、ワークシート等を見直し、聞いただけで判断できない時は、相手の文章を見させる

(3)展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝）
導入 1	1 本時の学習の目標をもつ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">文章構成の形式を確実に覚えよう</div>	授業の目標（その時間に身に付けたい「中核となる力」）を明確にし、生徒にも意識させる
展開 47	2 文章構成の形式を確実に理解する (1) 文例を読み、文章構成の形式を確認する (2) 双括弧の形式に沿って短い文章を書く (3) 双括弧の文章を、他の二つの形式に書き換えるとどのような文章になるか考える (4) それぞれの形式の良さと、適する内容を考える (5) 展開の工夫について気付く（「なか」の例や説明を並べる順序） (6) 「チャレンジ問題」に班ごとに取り組む 3 実現状況を確認する ・ペアを組んで、互いが書いた文章を三つの形式の一つを選んで発表し合い、どの形式かを考える	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を振り返りながら、文章構成の形式を想起させる (1)～(6)まで「Gアップシート」を使う構成のみを意識して書かせる 文章の内容、書き手の意図によって、合う形式があることに気づかせる (4)は前時のワークシートも使う 構成だけでなく、展開を工夫すると更に効果的に読み手に伝わることに気づかせる 展開の工夫については、第5間時目につなげるために、よく押さえさせておく チャレンジ問題は「Gアップシート」における発展問題だが、本時では、グループで取り組ませる ペアで、クイズ形式的な学習を行い、互いが文章構成の形式を理解できているか確認する 授業者は、「Gアップシート」を回収し、実現状況を確認して、第6時の授業の構想や家庭学習の指導、個別学習に生かす
終末 2	4 本時の学習を振り返る	「ふり返りカード」を使って、本時で身に付けたい「中核となる力」が身に付いたかどうか振り返らせる

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（3 / 6時間）

(1)目 標・文章を読み、文章構成の形式を見分け、文章のおおまかな内容をとらえることができる

(2)評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
既習内容を生かし、文章構成の形式を理解して、「最も伝えたいこと」が書かれているところを見つける	Bの内容に加え、「最も伝えたいこと」を文章にまとめている	「初め」と「終わり」に当たる部分を見つけ、「最も伝えたいこと」が書かれているところを見つけている	第1時間目に使用した文章構成を説明したワークシートや「Gアップシート」の見直しをさせる

(3)展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝ ）
導入 1	1 本時の学習の目標をもつ 文章構成の形式を確認し、内容をおおまかにつかもう	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業では、教材文に出会い、文章構成の形式を確認し、おおまかな内容をとらえること、また、次時の準備を確認すること ・前時までに学んだことの確認や、次時の、構成をとらえる学習のための準備が中心となる
展開 40	2 教材文を読む (1) 題名について考える (2) 教師の範読を聞く 3 おおまかに内容をつかむ (1) 「初め」と「終わり」の部分を確認する (2) 文章構成の形式の確認をする (3) 文章構成の形式の学習を生かして、「最も伝えたいこと」が書かれているところを見つける (4) 「最も伝えたいこと」を伝えるために、どんなことが述べられているか、おおまかに内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のモアイの写真を用いたり、モアイについて知っていること、疑問等を発表させたりして、教材文に興味をもたせる ・題名について、モアイが何を語るのかを考えさせ、興味をもって教材文に向かわせる ・まず「初め」と「終わり」に当たる部分があるかどうかから考えさせる ・「初め」は、既習内容を生かし、問題提起の文章を手がかりに見つけさせ、問題の内容も確認する ・「終わり」はおよそつかませ、「最も伝えたいこと」に気づかせてから、正確に確認する ・「初め」と「終わり」の部分があることから、「双括弧」であることを確認する ・文章構成の形式の学習を生かし、「最も伝えたいこと」を、「初め」と「終わり」の部分から見つけさせる ・「最も伝えたいこと」は「地球の資源利用の仕方」であることが、およそつかめればよい ・題名と副題や形式段落の5文目にふれながら、「最も伝えたいこと」を伝えるためにモアイを話題としていることに気づかせる
終末 9	4 本時の学習を振り返る 5 次時の学習の準備をする ・教材文をプリントしたものを切り、カードを作る 6 次時の授業の内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返しカード」を使って、学習の目標が達成されたかどうか振り返らせる ・「初め」「終わり」は大段落ごとに、「なか」は、形式段落毎に切り取らせる ・次時の構成をとらえる学習で使用する、台紙となる色紙も渡し、次時の準備をさせる ・カードを使って構成をとらえる学習を行うことを確認する

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（4 / 6時間）

(1)目 標 ・文章の構成をとらえることができる

(2)評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
提起された問題毎に答えの段落のカードをまとめ、文脈を考えてカードを並べ替える	Bの内容に加え、カードのまとめ方の理由を説明したり、双括弧以外の構成との違いを説明したりしている	「なか」の内容を理解し、提起された問題毎にカードをまとめ、まとまりの中の並べ方もおおむね合っている	形式段落 に立ち返らせ、「なか」の四つのまとまりの意味を確認させる
構成をとらえる力を見るために「Gアップシート」の問題に取り組む	Bの内容に加え、まとまりごとの内容を適切に要約している	「初め」「なか」「終わり」に分け、それぞれの内容をとらえている	第1時間目に使用した文章構成を説明したワークシートや「Gアップシート」の見直しをさせる

(3)展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝ ）
導入 1	1 本時の学習の目標をもつ 文章の構成をとらえよう	授業の目標（その時間に身に付けたい「中核となる力」）を明確にし、生徒にも意識させる
展開 47	2 教材文で、構成のとらえ方を学ぶ (1) 文章構成の形式が双括弧であることを再度確認し、「初め」と「終わり」の部分のカードを見つけ、それぞれの役割を確認する (2) 「なか」の部分の内容と、「なか」のまとまりの数を考える (3) 「初め」で提起されている四つの問題ごとに、答えになっている段落のカードをまとめていく (4) 三人グループでまとめ方を話し合う (5) 問題毎にまとめられたカードを、文脈を考えて並べる (6) 三人グループで並べ方を話し合う (7) グループで考えた並べ方を発表し、よりよい並べ方を考える (8) 異なる文章構成の形式で書いた場合との違いに気付かせる 3 実現状況を確認する ・「Gアップシート」で構成をとらえる力が身に付いたか確認する 「Gアップシート」の内容 ・「最も伝えたいこと」が書かれている段落を指摘する ・提示されている話題の内容を答える ・例の数と例が書かれている段落を指摘する ・文章を三段落に分ける	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は開かせず、前時に準備したカードを使って学習を進めていく 加工した教材文を使っていることを伝える 「初め」と「終わり」は形式段落ごとに切り離していないため、時間をかけずに進める 「なか」に書く内容は、説明、例、理由等であったことを思い起こさせ、この文章では何が書いてるのかを、「初め」の内容から気づかせる カードの枚数が多いため、作業の煩雑さが学習の妨げにならないよう、机上の整理、指示の徹底に努める カードによる学習が、遊び的なものにならないよう、文章の内容によく目を向けさせる まとまりごとに分けやすくするため、四色の台紙の上に分けていく 並べ方を確定したあとは、台紙にはらせ、次回の展開をとらえる学習の準備をする 「Gアップシート」を使う 本時で身に付けたい「中核となる力」を再度確認し、「Gアップシート」の有効的な活用の仕方、取り組む意義について、意識させながら取り組ませる 「Gアップシート」で授業の実現状況を把握し、その後の学習に生かさせる 授業者は実現状況を確認し、次時の授業、家庭学習の指導、個別学習に生かす
終末 2	4 本時の学習を振り返る	「ふり返りカード」を使って、本時で身に付けたい「中核となる力」が身に付いたかどうか振り返らせる

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（5 / 6時間）

(1) 目標 ・ 筆者の論理の展開の意図や工夫をとらえることができる

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
「なか」の内容の効果的な並べ方や、筆者の論理の展開の意図を考える	Bの内容に加え、四つの並べ方について、理由を明確に書き、筆者の論理の展開の意図も説明している	筆者の意図に気づき、四つの問題のうち「イースター島の文明がどうなったか」についてのまとまりを最後にしている	台紙に貼った、まとまりごとの内容をよく読み直してとらえさせ、「Gアップシート」の文章を参考にして並べ方を考えさせる
構成をとらえる力を見るために「Gアップシート」の問題に取り組む	Bの内容に加え、筆者の論理の展開の意図を明確に読み取り、説明している	文章の流れをつかみ、抜けている文や語を入れたり、筆者の論理の展開の工夫や意図をとらえたりしている	「Gアップシート」の文章を読み直させたり、本時で考えた「なか」の並べ方を振り返らせたりする

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝）
導入 1	1 本時の学習の目標をもつ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">文章の展開をとらえよう</div>	授業の目標（その時間に身に付けたい「中核となる力」）を明確にし、生徒にも意識させる ・「文章の展開」とは、筆者の論理の展開の意図に基づいた説明の工夫、説得の方法であることを確認する。
展開 47	2 筆者の論理の展開の意図をとらえる (1) 「なか」の四つのまとまりの効果的な並べ方を、理由も明確にして考える (2) 三人グループで並べ方を話し合う (3) グループ毎の考えを理由と共に発表し、互いの考えに意見を述べ合う (4) 筆者の並べ方を知り、自分たちの並べ方と比較しながら、筆者の論理の展開の意図を考える (5) 「なか」の並べ方以外の展開の工夫について考える 3 教材文の構成と展開についてまとめる 4 実現状況を確認する ・「Gアップシート」で展開をとらえる力が身に付いたか確認する 「Gアップシート」の内容 ・問題の答えが説明されている段落を指摘する ・「なか」の並べ方の理由を答える ・文章の展開を考えて、適語を補充する ・文章の展開を考えて、文を挿入する ・論の述べ方を答える	・前時でカードを台紙に貼った物を使うが、並べ替える作業が、遊び的なものにならないよう、まとまりの内容や、「最も伝えたいことに」よく目を向けさせ、順番による効果の違いを考えさせる ・並べ方の理由も書かせる ・三人の意見を、一つにまとめる ・一人の意見に引きずられないよう、全員が納得するまで話し合わせる ・意見を板書する際には、生徒の台紙と同じ色の紙板書を用いて、意見をわかりやすく示す ・形式的な理由ではなく、内容的な理由によって並べ方を考えていけるように、話し合いの流れを教師側で作っていく ・正解ではなく、筆者の並べ方である点に注意して提示する ・「地球の資源利用の仕方」についての意見を、読み手が納得するように伝えるために、筆者はどのように論理を展開させているのか、筆者の視点を意識させ、考えさせる ・展開の意図をプリントにまとめさせる ・教材文に限らず、展開の工夫とは、他にどのようなものがあるか教師側から説明する ・教材文については、イースター島の状況と地球の未来の類似点を見つけ、遺構から未来を考えるという筆者の着眼点の面白さに気付かせる ・双括式の良さに改めて気づかせる 「Gアップシート」を使う。 本時で身に付けたい「中核となる力」を再度確認し、「Gアップシート」の有効的な活用の仕方、取り組む意義について、意識させながら取り組ませる 「Gアップシート」で授業の実現状況を把握し、その後の学習に生かす 授業者は実現状況を確認し、次時の授業、家庭学習の指導、個別学習に生かす
終末 2	5 本時の学習を振り返る	「ふり返しカード」を使って、本時で身に付けたい「中核となる力」が身に付いたかどうか振り返らせる

単元「モアイは語る 地球の未来」の指導展開案（6 / 6時間）

(1)目 標 ・文章の構成や展開をとらえる力の有用感を感じ、単元で学んだことを振り返ることができる

(2)評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
学んだことを生かして、第2時間目に書いた作文を再構成したり、与えられたテーマで文章を書いたりする	構成と展開を意識してテーマ作文を書き、自分の展開の仕方を明確に説明している	展開を意識して、再構成し、ペアの相手にその工夫を伝えたり、相手の工夫を感じ取ったりしている	「Gアップシート」の見直しをさせたり、「Gアップシート」の文例で展開の工夫を説明したりする
文章の構成や展開をとらえる力を見るために「Gアップシート」の問題に取り組む	Bの内容に加え、構成や展開をとらえて、内容を理解し、要旨をまとめている	文章を三つのまとまりに分け、それぞれの内容をまとめたり、展開の工夫をとらえたりしている	これまでのワークシートや「Gアップシート」を振り返らせる

(3)展開

	学習活動	指導上の留意点（Gアップシート＝）
導入 1	1 本時の学習の目標をもつ 文章の構成や展開をとらえる学習のまとめをしよう	授業の目標（その時間に身に付けたい「中核となる力」）を明確にし、生徒にも意識させる
展開 44	2 自分の書いた文章を、構成・展開の学習を生かして再構成する (1) 自分が書いた文章を読み直し、次の3点について確認し、再構成する 双括弧になっている 「最も伝えたいこと」が明快である 「なか」の並べ方が意図的である (2) ペアで、再構成前と後の文章とで変えた点や、変えたことによる効果を伝え合う 3 テーマに沿って作文を書く (1) テーマを選択し、条件に合わせて作文を書く ・テーマ 友達のいいところ 大切にしているもの ・条件 説明や理由を三つ挙げ、その順番に並べた理由を明確にして、三段構成で書く (2) ペアで読み合い、評価し合う 4 実現状況を確認する ・「Gアップシート」で構成と展開をとらえる力が身に付いたか確認する 「Gアップシート」の内容 ・提示されている話題の内容を答える ・例の内容を答える ・文章を三段落に分ける ・文章の展開を考えて、文を挿入する ・論の述べ方を答える文章 ・構成をとらえ、内容理解に役立て、文章を要約する	「Gアップシート」で書いた文章を再構成させる 構成のみを意識して書いた文章を、展開の学習を生かして再構成させ、二つを比較することで、展開を工夫することの大切さや効果を感じさせる ペア学習では、内容にとらわれないよう、文章の構成と展開という視点を確認して、意見を伝え合わせる ・文章を作ることで、これまでの授業で身に付けた「構成や展開をとらえる力」を確かしながら、それを生かし、役立つことを実感する場面とする ・Cの生徒は、2の学習活動に集中させ、終了してから、3番に取り組みさせる ・作文には、ワークシートを使用させる。 ・これまで学んだ観点で評価させる 「Gアップシート」を使う 本時、本単元で身に付けたい「中核となる力」を確認し、単元全体の総復習的な問題であることを意識させながら、取り組ませる 特に、これまでの「Gアップシート」で苦手だった問題に意識を向けさせ、ワークシートやGアップシートを振り返らせながら、克服させる 「Gアップシート」で授業の実現状況を把握し、その後の学習に生かさせる 授業者は実現状況を確認し、家庭学習の指導、個別学習に生かす
終末 5	5 本時の学習を振り返る 6 単元全体の学習を振り返る	「ふり返しカード」を使って、本時で身に付けたい「中核となる力」が身に付いたかどうか振り返らせる 「ふり返しカード」を活用し、本単元で身に付ける「中核となる力」が身に付いたか、単元全体の実現状況を把握し、その後の学習に生かさせる